

# 体育会通信

~Dark Blue Sports~

LIFESTAGE  
2005

各種大会で大活躍の京都大学体育会。ここでは、そんな体育会の戦況や、現在行われている七大戦を紹介します。

みんなで体育会を応援しましょう！



## 特集！ 陸上部から世界陸上出場！！

今回、8月上旬に開催される世界陸上に、20km競歩選手として見事に内定を決めた、情報学研究科修士2回生の杉本明洋さんに独占インタビューさせていただきました。

—世界陸上に内定おめでとうございます!!

ありがとうございます、まだあまり実感はないですけど……。

—内定が決まったのはいつですか？

ちょうど1週間前の、6月6日(月)です。実はそのときちょうどスペインに遠征に行っていたので、7日に帰国して、メールを見て初めて知りました。

—内定につながった大会について教えてくださいいただけますか？

今年の1月末に、六甲アイランドで行われた日本選手権ですね。その大会で2位になり、他種目との兼ね合いもありまして、6月に内定が出たという形です。

—なるほど。世界を舞台に挑まれるわけですが、世界を意識し始めたのはいつ頃からですか？

去年からですね。実は、去年の日本選手権でも、今年と同じく、2位になったんです。去年はアテネがかかっている、結局行くことはできませんでした。でも実は2位という結果を収められるとも思っていなかったもので、もう少しでアテネに行けるところまでいったことが驚きで、「もしかして世界って手の届くところにあるんじゃないか!?!」という気持ちになったんです。

—それから1年で目標を達成されたわ

けですね……やっぱりすごいです！ 研究活動で忙しいと思いますが、どのような練習をされているんですか？

週6～7日、1日約10km練習しています。でもそんなに厳しさは感じませんよ、楽しくやるのが一番ですから。昼間は授業や研究があるので、基本的に夜間になりますけど(笑)。

—毎日欠かさない努力が結果に結びついたので、杉本さんにとっての競歩の魅力は何ですか？

単純に面白くないですか？ 1km4～5分で歩けちゃうんです！ 時速に直すと12～15km……台風と同じなんですよ！ それから、ルールがある、というのも競歩の醍醐味です。競歩のルールは主に2つあって、両足を同時に離したらいけないのと、これがなかなか知られて



世界陸上出場が内定した杉本明洋さん

いないんですけど、地面に足がついている間は膝が伸びていないといけません。よく「走りたくないか」と聞かれるんですけど、それはサッカー選手に「手を使いたくないか」と聞いているのと同じことなんですよ(笑)。

—なるほどその通りですね。最後にズバリ、世界陸上での目標は？

まだまだ世界に挑めるようなレベルではないですけど……とりあえず、準決勝レベル(ベスト16)を目指して頑張ろうと思います。

—ありがとうございました。

## FURTHER INFORMATION

長距離や短距離走に比べて競歩人口は少なく、関西インカレでも正式種目になったのは去年からだそうだ。しかし競歩をこよなく愛し、「競歩やりませんか？」と笑顔で事務室にいる体育会本部員を勧誘し始めてしまった杉本さんなら、競歩ブームを引き起こしてくれるような気がしてならない。競歩の魅力語る杉本さんは本当に嬉しそうだった。

中学ではテニスをやっていたりして、高校から長距離走と競歩を始め、大学から専門を競歩に変えたという杉本さん。アトランタ、シドニーオリンピックの競歩顧問を務めていた田上さんをコーチに持ち、知る人ぞ知る運動科学の小田先生など多くの人に支えられ

てきたとはいえ、個人競技のため、基本的に1人で練習することが多いという。「受けたアドバイスは全部やってみて、もしそのとき自分に合わなくても引き出しにしまっておけば、いつか履いたときに取り出せる」という言葉には、自信と説得力があった。

7月の初めには日本インカレがあり、直後に日本陸上連盟の強化合宿が始まるそうだ。まさにスポーツに生きる杉本さん。ご多忙の中、ご協力本当にありがとうございました。

8月は世界陸上！ 杉本さんを応援しよう！ また、陸上部には関西インカレで好成績を収めた選手もいる。夏の全国七大学総合体育大会(通称：七大戦)もお見逃しなく！

# 部活インタビュー

体育会では、様々な部が好成績を収めています。今回はその中から、少林寺拳法部とフィギュアスケート部にインタビューしました。

## 少林寺拳法部

工学部工業化学科4回生の佳山祐造さんと寺島純平さんにインタビューしました。朝練後の爽やかな姿で登場してくれました。



◀京都府下大会表彰式での優秀演舞披露

—大学から少林寺拳法を始められたのですか？

寺島（以下寺）：僕は大学から始めました。

—始めたきっかけは何ですか？

寺：ん～何となくですかね（笑）。まず、したことがないことをしてみたかったのと、武道系がやりたいというのがあって、のぞいてみたら面白そうだったので。体育会に入ったのはちゃんとやれそうだと思ったからです。

佳山（以下佳）：僕は小学校前からやっていて、中、高と間は空いたんですけど……見学に行ったら活気があったし、ちゃんと教えてくれそうだったので、大学でまたやってみようと思いました。

—練習は厳しいですか？

2人：朝練も含めると週6日です。でも今はもう慣れましたよ。最近は朝練で、七大戦に向けて12人演武の練習中です。

—12人で演武ってすごいですね！ 七大戦は例年どんな感じですか？

佳：3年前と一昨年2位で、去年1位でした。

寺：ここ7年で1位か2位しかとってないですね。

—それはすごいですね！ 今年もぜひ1位をとってきてください！ お2人にとって少林寺拳法の魅力って何ですか？

佳：部の雰囲気はすごくいいです、活気がある。

寺：ピシピシしてるとこかな……あれ、なんか違うかな（笑）。

佳：あと技が面白いです。1つ1つ理論立ってるし、どういう風に相手が崩れるか、とかすごく考えられてて。

寺：お～、いいこと言う！

—ご自身で技を開発されたりもするんですか？

寺：開発したと思っても「これはこういう技だ」と言われたり、なかなか難しいです。最初はいろいろ練ってたんですが。

—やはり武道は奥が深いですね。最後までアピールしたいことはありますか？

佳：七大戦、優勝目指して頑張ります！……って普通すぎるかな（笑）。少林寺拳法部は、みなさんが持ってる体育会のイメージと違って、上下関係が厳しすぎず、甘すぎず、いい環境ですよ。

—朝練後お疲れのところありがとうございます。七大戦も期待しています！

## フィギュアスケート部

フィギュアスケート部主務で工学部地球工学科3回生の北神理紗子さんにインタビューしました。3月の国公立大会では、7級（最高級）男子1位に神崎範之さん、A級（=3級）、2位に上田哲寛さん、B級（=2級）1位に津田佳行さん、C級（=1級）女子2位に山根史帆里さん、そして男子永久総合優勝、女子も総合優勝と、男女共に大会を制覇しました。ちなみに国公立大会では、入賞者の数で勝負を競います。永久総合優勝とは、3年以上連続で総合優勝を取めたことを意味しています。また、京都府下の個人大会でも、私大を押しつけて優勝することは珍しくないそうです。

—練習はどのように？

上手な人の振り付けや表現力をビデオで研究して、盗みます。それから練習中に1人1人ビデオで撮って、各自で自分の滑りをチェックしています。見るとびっくりします、「えっ自分ってこんなだったの!？」って（笑）。

—京大のフィギュアスケート部がこんなに強い理由は何だと思いますか？

人数が多いから高くても負担を分散してリンクを貸し切れるので……それが1番大きいと思います。けれど今使っているリンクが9月で閉鎖してしまうんです。

—全国的にリンクが減っているのは切実ですね。北神さんにとってフィギュアの魅力って何でしょうか？

昔やっていたバレエと共通部分があると思って始めたんですが、やってみると全然違いました。フィギュアは表現力も必要だけど、技ができないと話にならないので……足や上半身などあちこち気をとられてすごく難しいです。1つのことができるようになってもまだまだ先があるといった感じで奥が深いです。それに一見優雅ですけど、実は2分滑るだけではあはあ言うってしまうくらいしんどいスポーツなんです。大変ですけど楽しいし、



◀大会後に部員達と集合写真

ジャンプができたときの喜びは、なんとも言えません！

—では最後に、部の魅力を。

男女が半々で仲がよくて、部の行事以外でも集まったり、旅行やキャンプに行ったりと雰囲気がとてもいいです。それから師弟制度といって、先輩の中から自分の師匠を選ぶんです。特に師匠と弟子はすごく深い関係になれますね。

—独特ですね～、面白いお話をありがとうございました！

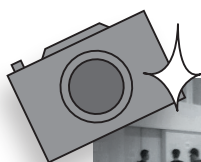
# News!! 七大戦速報

今年の全国七大学総合体育大会は九州大学で行われます。昨年京都大学体育会は、見事総合順位2位を勝ち取りました。今年は早くも4つの部が試合を行い、それぞれの結果が出ました。残念ながら1位の部はありませんが、2位の部が3つとなかなか健闘しているようです。

試合結果 '05	ライダー部	2位	馬術部	2位
	スキー競技部	2位	アイスホッケー部	6位

まだまだこれから残り32の部が七大戦を戦います。その中でも去年、七大戦で見事優勝し、波に乗るフェンシング部は今年期待の部です。

今回は、フェンシング部の方のお話を聞きました。



今年の夏に行われる七大戦のフェンシング競技、優勝候補はもちろん京大！ 昨年優勝の実績から考えても今年は譲れない。そんな強い京大の中で注目すべきなのは、過去2大会で新人王とMVPを獲得しているエース高橋選手。頼れるエースを中心に全員で一丸となって連覇を目指す！ ライバル校はというと、阪大や東北大が挙げられるが……果たして結果は？ また七大戦の後には現在3連覇中の全国国公立戦が控えているが、こちらも注目である。今年の夏はフェンシングが熱い!?

## + 献血



アメリカンフットボール部が行っている献血活動を紹介します。

毎年7月、京都大学の時計台近くで部員を総動員して献血活動を行っています。アメフトも献血も人と人が協力し合うことで成り立つ素晴らしいチームプレイです。私達は日本一を目指すチームとして多くの方々のご支援のもと、日々自己の心身を鍛え上げています。この身体で、少しでも社会に貢献出来るのなら、チームをあげて協力したいと思っています。献血前には血液検査も行われるため、スポーツマンとしての健康管理にも役立ちます。

今年は7月6日(水)に献血活動を行います。もちろんアメフト部員以外も参加可能です。みなさんもこの機会に献血してみませんか？